

グルマリー・チッドヴィラーサーナンダについての熟考

かけがえのない変化

ディパンジャリ・セシリア・エスカーラ

私が参加した最初のシッダ・ヨーガのイベントは、アルゼンチンのブエノスアイレスのシッダ・ヨーガ瞑想センターでの、1997 年元日のサツァングでした。当時、私は「良い人生」を生きているように見えました。欲しいと思ったものはすべて持っていました。私は歯科医として成功していましたし、友人や家族など愛する人たちの輪があり、秀でたテニス選手でした。それにもかかわらず、心の底では、もっと何かを欲していると分かっていました。たびたび自分自身に問い掛けました。「これはすべて何のためにあるのだろうか？」

その最初のサツァングで聞いた、グルマリーのシッダ・ヨーガ・メッセージの講話、「内なる勇氣に目覚め、神聖な満足に浸りなさい」の中で、グルマリーは、「内なる勇氣の力を奮い起こし、あなたが夢見た人生を生きなさい」と、私たちをいざないました。この招待は、私の目覚めのベルを鳴らしました。私が夢見た人生！ それはどのようなものなのでしょう？

シッダ・ヨーガの道を歩き続けながら、私はこの質問を熟考し、その答えを探し続けました。2001 年夏にシュリー・ムクターナンダ・アーシュラムを訪れた時、私はプラサード・プロジェクトの仕事について知りました。プラサード・プロジェクトはグルマリーによって始められ、その人道的な活動は、シッダ・ヨーガの道の教えに動機付けられています。プラサードは、地域と協力し、必要とする人々への持続的な開発、教育、保健活動を提供しています。プラサード・プロジェクトについて知れば知るほど、私の夢見る人生がどんなものなのか、より確信するようになりました。私の仕事を、この奉仕にささげたいと思いました。

2002 年、アルゼンチンで築き上げた生活を後にして、米国に引っ越しました。プラサード・プロジェクトのプログラムの一つである、ニューヨーク州サリバン郡にある歯科診療所で働くためです。それはとてつもない人生の変化で、私は喜びと信念と勇気をもって、それを受け入れました。私は生まれてきた目的を果たそうとしていると感じました。

始めた当初から、私はプラサード・プロジェクトでの仕事を愛してきました。グルマーイが私たちに教えてきた、そして、プラサードのビジョンの中核にある価値観を愛しています。すなわち、あらゆる人に内在する尊厳と価値を認めること、そして、私たちの同胞である人々への尊敬と愛です。また、人々は自分自身の生活の質を向上させる能力を持っているという確信を持って、プラサードが奉仕を受ける彼らと協力して働いているのは、グルマーイのインスピレーションによるものです。一つ一つのプログラムがグルマーイの恩恵と教えを通して流れる祝福と愛と慈悲を運び、そしてそれらのプログラムに関わるすべての人々が——奉仕する人々はもちろん、奉仕を受ける何千もの人々も——それを感じます。これがプラサードをととても素晴らしく、独自のものにしている理由です。それは、**シッダ・グル**の教えと祝福を伝える慈善事業なのです。

つい先週、サリバン郡の男の子が歯科助手に電話で尋ねました。「次はいつ、また歯医者さんに連れて行ってくれますか」。子どもたちからの、歯医者さんに行きたいという要望は、プラサードでは非常に頻繁に起こります。彼らは診療所の環境にいと、安全で楽しいと感じています。ある女の子が最近言いました。「歯医者さんの人たちは、私を心地良くしてくれます。とってもいい時間です」

子どもたちは、奉仕の根底に尊敬と愛があることを感じ取っています。その結果、彼らは自分の健康に気を遣うことを動機付けられ、友だちや家族にもそうすることを勧めます。誰もが、この組織の仕事を通して具現化されたグルマーイの愛と恩恵を体験します。プラサードの仕事の影響は、実際のサービスをはるかに超えています。それは、奉仕を受ける地域社会の幸福を鼓舞する包括的で人道的な活動です。

プラサード・プロジェクトを通して健康を増進させ、祝福を受け取った人々を長年見聞きしてきて、私はグルマリーの恩恵が私の人生も同様に、強力に変容させたと認識しています。人々へどのように奉仕するかを学ぶことで、私はより幸せな人間になりました。プラサードの仕事は私の人生を、美しさと意味で満たしてくれました。私は、自分が毎日大勢の人々の生活に違いを生み出すことに貢献していると確信しています。そしてそれは私にとって、考えられる最もやりがいのある仕事です。

グルマリーは、私にかけがえのない変化をもたらし、人生の意味を見いだすインスピレーションと勇気を与えました。今では、私が夢見た人生を生きていると、心から言えます。



© 2020 SYDA Foundation®. 著作権所有。